平成16年12月15日

第12回定例会会議録

文京区教育委員会

文京区教育委員会会議録

第 16 号

平成 16 年 第 12 回 定例会

日時：平成16年12月15日（月）18時30分

場所：教育委員会室

「出席」

委 員 長	小 堀 樹
委員長職務代理者	棚 橋 嘉 勝
委 員	猪 口 邦 子
委 員	島 田 燦 子
教 育 長	中 村 満 吉

「説明のため出席した教育局職員」

学 校 教 育 部 長	佐 藤 一 夫
生 涯 学 習 部 長	藤 沢 稔
庶 務 課 長	加 藤 秀 次
学 務 課 長	佐 藤 正 子
指 導 室 長・	山 田 修 司
教育センター所長兼務	
教育改革担当課長	廣 瀬 誠 一
文化振興課長・	得 永 哲 也
生涯学習センター所長兼務	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	内 池 正 興
真砂中央図書館長	金 田 正 美

「書記」

庶 務 係 長	谷 島 英 和
主 事	谷 亀 雅 和

「開 会」

小堀委員長 それでは、第12回教育委員会定例会を開会いたします。（18:31）

本日の会議録の署名人は、中村委員にお願いいたします。

第1 会議録の承認

会議録12号（平成16年第12回定例会）

小堀委員長 第一の議題です。会議録の承認についてです。会議録第14号、第10回定例会のものでございます。何かご意見はございますか。

特にございませんようでしたら、承認といたします。

第2 報告事項

小堀委員長 本日は、報告事項だけです。それでは、報告をお願いします。

学校教育部長 委員長。

小堀委員長 はい、どうぞ。

学校教育部長 本日の報告事項でございますが、1件追加をお願いいたします。内容につきましては、席上に配付してございます、お茶の水女子大学との協定の件でございます。なお、このご報告につきましては、学務課長よりいたします。したがって、順番は、6の小学校通級制情緒障害学級の増設について、に続いてご報告をさせていただければと思っております。よろしいでしょうか。

小堀委員長 よろしゅうございますね。それでは、6の次にただいまの追加報告事項をお願いします。

（1）児童の通学时等の安全確保に関する陳情について

小堀委員長 それでは、報告事項です。はじめに、児童の通学时等の安全確保に関する陳情についてです。庶務課長、報告をお願いします。

庶務課長 資料第1号でございます。この資料第1号は、第11回定例会におきまして、児童の通学时等の安全確保に関する陳情につきましてご報告をいたしました際に、ご意見などをいただいた事項について、報告をするものでございます。

まず、第一は、道路の状況でございます。（1）に六角坂から中央大学前までの文京区道818号の道路の幅員についてのお尋ねをいただいております。一番狭いところで5.6メートル、一番広いところが10.05メートルでございます。なお、次のページに図面では、それぞれの場所に幅員の数字を入れてございます。

それでは、拡大をいたしましたこちらの図面でご説明いたします。こちらが中央大学、そして、ここが六角坂です。この道路が818号でございます。この区道は一方通行でございます。

次は、この一方通行の解除についてでございます。平成7年6月にグランツオパール小石川と

いう建物が建ちました。この建物の建設の時に、この一方通行の解除があったのかどうかとのお尋ねでございました。警察では、一方通行を解除していたとのことでございます。

次に、ガードレールの設置状況についてのお尋ねでございます。この図面で、ピンク色で表示している部分がガードレールでございます。文京区の土木部道路課が所管でございます。六角坂入口から中央大学前までの区道818号にかかるガードレールの設置につきましては、現時点では一定の整備を終了している、ということでございます。

次に、通学路の安全確保につきまして、ごみの収集に関するお尋ねでございます。ごみの収集場所は、六角坂から中央大学の入口までに9カ所でございます。その場所は、堀坂から春日通りまでの一方通行の道路に4カ所、上富坂教会から堀坂までに2カ所、堀坂に1カ所、六角坂から上富坂教会までに2カ所でございます。そのうち、2カ所のごみ置き場では、ごみで歩道がふさがれておりまして、歩道の通行ができない状態になっておりました。子供が登校する際には、歩道をはみ出さないと通れない、という状況を確認いたしました。

また、この写真でございますが、ごみのところに収集車が来ますと、後続の車両も通れない、そして、人も通れない、このような状況になっております。

そこで、文京清掃事務所をお訪ねし、お願いなどを行ったところ、資料のような回答がございました。

それでは、この資料によりまして、ご説明いたします。

まず、1でございますが、清掃事務所の業務でございます。勤務時間、作業内容、収集車両、そして、ごみの収集時間の状況が記載されております。

2に、児童の通学後の収集についてでございます。これは、前回の委員会におきまして、外国の例のごとく、子供たちが通学する前にごみの収集ができないかというお尋ねをいただいたことに関係をしてございます。現在、8時10分から8時30分までに収集をしておりますけれども、8時30分以降に収集するという案でございます。この場合は、通学児童との時間差ができます。この登校が終わった後のごみ収集は、できるかもしれないというものでございます。

そして、集積所の改善でございます。現在、ごみの量が多い集積所については、歩道をふさいでいるところがありますので、歩道上のごみを車道に一行に出すことにより、児童の通学時の危険を多少回避することができる。そういう方策でございます。

また、集積所の新設、あるいは集積所の移動・分散、そういったことも考えられます。

次に、3番は、児童の通学前の収集についての文京清掃事務所の総合的な考え方でございます。

はじめに、清掃車1台にごみを積むためには、30分前後の時間が必要である。児童の通学が始まる7時45分までにごみを収集するためには、7時15分から収集作業を開始することになる。事前打ち合わせが20分を必要とするので、6時55分ぐらいに出勤をする必要がある。これは、清掃事務所の都合でございます

文京区には、区立小学校が20校、その他、たくさんの学校があります。その中で1校のみの収

集時間を早めて収集することは、問題があるのではないかと、こういう指摘をいただいております。

次に、効率的な作業運営を考えておりますが、早朝作業でごみを収集いたしますと、朝早くごみを出せない住民や事業者のために、もう一度、そのごみを収集しなければならない、という状況が考えられるものでございます。

こうした状況を考慮すると、文京清掃事務所では、児童の通学前の収集については、現在困難な状況にあるという回答があったものでございます。

次ページ以降は、前回いただいた陳情の内容の資料、そして、礪川小学校が保護者の皆様へということで、マンション建設工事に伴う登下校と休日等の安全確保についてをお願いをしている文書でございます。

また、警察に対して、子供を守るために警察の責務を改めて求めてほしい、このような依頼を受けております。昨日でございますが、12月14日、富坂警察署交通課長をお訪ねいたしまして、学校周辺、近隣の交通安全について、さらに強化をしてほしい、そのように要請をいたしたところでございます。

そのほか、もう1点は、礪川小学校の裏側の通用門の交差点部分でございますが、土木部道路課におきまして、交差点の明示塗装をいたしました。11月23日に施工したとのことでございます。通行時の安全対策の一つでございます。

報告事項第1号は以上でございます。

小堀委員長 ご苦労さまでした。様々な調査をしていただきましたが、学校教育部としては、どこに対してどのような申し入れをしたことになるのでしょうか。例えば、前回、猪口委員から出ていたガードレールの切れ目の問題がありましたが、現実の問題として、子どもたちの安全には、支障はないと考えてよろしいのですか。危険はなさそうだと考えてよいのですね。

庶務課長 危険がないということではなくして、ガードレールにつきましては、設置ができる可能な箇所については、設置済みである、ということでございます。

島田委員 報告内容などを考えると、ごみの集積場所をかえることがよいと思います。

庶務課長 ごみの集積所場でございますが、先ほどの写真の例に見られますように、小規模な集積場にすれば多く集まりません。そして、歩行の妨げにもなりませんのでよいと思います。現実では、自分の家の前にたくさん集められる、それは困るというようなこともございます。清掃事務所では、場所をかえる場合、それぞれの家の方に了承も得ながら進める必要がございます。そういうお話もいただいております。

小堀委員長 そうしますと、通学時間の前にごみを収集することは不可能なようですね。それでは、児童の通学後の時間に変えるということはできるのですね。

庶務課長 時間の変更につきましては、清掃事務所と協議いたします。

猪口委員 まず、誠実にこの調査をしていただきましてありがとうございます。写真も現地

で撮って、検証していただき、実態がよくわかりました。

あらためて、教育委員として、児童の立場に立って、児童を守る観点から考え、発言をさせていただきます。やはり区の行政は、子供を中心に考えて、清掃事業、また、土木的な対応が必要かどうか、などを検討していただくことをお願いします。

一つは、ご説明いただいた2ページの3の(3)です。早朝作業でごみを収集した場合、出せない住民や業者のためにもう一度ごみを収集しなければならないということです。この理由によって、子どもたちの通学時における交通事故の危険性が少しでも増すようなことを許容することは、教育委員としては納得できない論理です。もう少し子供のことを最優先に考えて、理解していただけるよう、再度、説得などをお願いしたいと思います。

ごみの収集時間を子どもたちが通学した後の時間に移すということは、子供たちが危険な道路を通過して通学させることでよいのかということです。子どもたちをごみが収集された後の安全な道を通って通学させてやりたいということは、教育委員と保護者の願いであると思います。通学が終わってから、8時半から収集しようというのでは、子どもたちを重視したお答えではないと思います。その他のことは、合理的かもしれないけれども、最も肝心の優先順位の配慮がされていないという感じがいたします。早朝からお仕事ということで、大変な負担をおかけすることはわかりますが、やはり文京区の子どもをみんなで守っていくという観念に共感していただきたいと思います。それぞれの部署でお仕事をしている方々も感じてほしいのです。大人たちがこのような目的のためにみんなで働くという文京区をつくることが重要ではないかと思います。子どもは、社会的な陳情ができる集団をつくり得ないのです。彼女たち、彼らたちの立場をだれが代弁してくれるのかというと、それは、この教育委員会なのです。

そして、警察に対して、安全登校のための更なる強化のお願いをしていただいたことはありがたいと思います。しかし、前回の委員会では、島田委員も発言をされたと思いますが、ガードレールなどの設置については、問題があります。子どもが通う教育施設または児童館などの周辺については、ガードレールや歩道を設置するよう努力していただきたいと思います。また、ガードレールは、長区間にわたって抜かれているところがあります。それが歩行者を守る施設として、不十分であるという感じがいたします。ですから、単に強化してくださいという申し入れではなく、なぜその部分についてできないかの説明をいただくというように、ピンポイントをお願いすることが効果的だと思います。

そして、工事の誘導員についてです。前回の委員会では、多くの工事現場で、誘導員の人々が渋滞を避けるために誘導しているようなところがあると発言しました。誘導員の方は、歩行者、とりわけ子供の安全を第一に優先して、誘導してほしいと思います。警察ないし誘導員を教育するプロセスにおいて徹底的に指導してほしいと思っています。警察もそのように認識してほしいということをあらためて申し入れていただきたいと思います。

私の希望としましては、ごみの収集は、通学時間前に終えていただきたいと思います。また、

集積場所は、車道に一直列にするということは、いい考えだと思いますので、実行していただきたいと思います。これであれば、早朝通学をする生徒なども安全であると思います。ぜひ、子どもたちの安全に視点を置いて物事を考えてほしいと思います。

なお、1校のみ時間を早めて収集することには問題がある、との考え方についてですが。このような考え方では、すべてをだめにしていくのです。これはすべてをだめにするための論理なのです。それをモデルケースとして実施するのです。そして、それを全区的な努力目標にしていくことです。その学校だけがうまくいくわけにはいかない。その地域、その区だけ、その道だけがうまくいくわけにはいかないといっているのは、改革がおくれることになります。この論理は、私は、受けとめることができないと思います。

小堀委員長 庶務課長、どうぞ。

庶務課長 再度、ご質問、ご意見をいただきました内容をさらに検討いたしまして、適切な対処をいたしたいと考えおります。

猪口委員 早朝収集を実施した場合には、清掃業の方々に多大な負担をおかけしします。勤務時間など問題の中で、大変に誠実な収集作業をやっていただくことになるのですから、手当などが可能かどうかも考えていただきたいと思います。もし、早朝収集が可能になった場合には、ぜひ、区の行政の中で清掃業者に対して、特別な配慮をお願いしたいと思います。

学校教育部長 只今の猪口委員のご発言を踏まえまして、再度、文京清掃事務所と協議をしていきたいと考えております。

小堀委員長 それでは、協議の結果などを改めて報告していただきましょう。

ほかにご意見などはありませんか。

子どもたちの安全確保については、ほかのこととは違いますので、お骨折りいただいて、すずめていただきたいと思います。

(2) 大型自動車の通行規制を求める陳情について

小堀委員長 次は、大型自動車の通行規制を求める陳情についてです。庶務課長、どうぞ。

庶務課長 資料第2号でございます。大型自動車の通行規制を求める要望書でございます。記載の方から陳情ということで提出されたものでございます。文書の冒頭の部分を少し読ませていただきます。

私たちが利用しております区道818号 先ほどの道路でございます は、礪川小学校や柳町小学校の通学路ですが、急な坂道、曲がり角や歩道が狭い箇所があります。抜け道としての利用者もあり、居住者以外の通行量が最近大幅にふえております。そうしたことも踏まえまして、

このページの下段のところでございます 要望事項、文京区道818号の大型自動車通行を禁止してください。要望の理由は、大型自動車の通行に十分な道路幅員ではない。2番目に、自動車がはみ出してくるため、歩行者が危険にさらされている。3番目には、沿線個人宅では大型

自動車の通行によって振動障害も発生している。このような内容でございます。

裏面に地図が記載をされております。先ほどのものと同じでございます。

次の13ページは、教育委員会あての名簿でございます。919名分の方々の名簿が添付されております。

次は15ページでございます。こうした要望をいただきまして、企画政策部広報課長から、要望をいただきました方に回答をしております。

回答の内容でございます。

日ごろから、地域の子どもたちの安全を見守っていただきまして、ありがとうございますと
しています。

教育委員会では、通学時等の安全の確保につきましては、学校と連携し、万全を期しているところ
でございます。

要望書にあります区道818号の大型自動車等の通行に関しましては、礪川小学校などとともに
通学時の交通状況を注視し、引き続き安全確保に努めてまいります。

なお、要望書の受理につきましては、12月15日、本日でございますが、開催予定の第12回教育
委員会定例会で報告する予定でございます。

この部分は、学校教育部庶務課が担当してございます。

次のところに、また、要望書にあります車両の交通規制につきましては、交通管理者（東京都
公安委員会）が所管するものであります。区は道路管理者としまして道路法など関係法令に基づ
き適切に対処してまいります。

この部分の回答につきましては、土木部管理課で担当してございます。

なお、この内容の陳情は、教育委員会以外に公安委員会、そして、文京区長あてに提出されて
おります。

なお、陳情の対応につきましては、昨日14日に富坂警察署を訪ねましたところ、交通課長から
は、区道818号の大型車両の通行量調査をしているところであるとの回答をいただいているとこ
ろでございます。

第2号は以上でございます。

小堀委員長 それぞれ所管に陳情しているのですね。

何かご質問、ご意見はありませんか。

これは、教育委員会だけの問題ではないということですね。区道の管理者がどのように対応す
るかということですね。

島田委員 この陳情は、教育委員会へもいただいているわけですから、私どもとしても、児童
の安全を守るために、ぜひ、関係者で力を合わせて実現をしていただきたいと思います。

これはマンション建設の工事車両に関係しているのでしょうか。

庶務課長 マンションの建設に絡んでの要望と理解をしています。

小堀委員長 交通安全運動の関係ですが、交通安全協議会がありますね。その場で議題にあげることは、やはりできないのでしょうか。結局は、道路管理者の問題ですね。

教育長 公安委員会が最終的な判断をいたしますが、教育委員会といたしましても、今、課長が申しあげましたように、子どもたちの安全確保のための要請を警察にしたところでもあります。

小堀委員長 教育委員会として、具体的にどのように対応するかという点については、今の経過をもう少し見定める必要があるかもしれませんね。この問題は、さきほどの報告事項の内容と間接的にはつながっていることですから、礪川小学校の校長先生は承知しているのですね。

教育長 はい。確認しております。

猪口委員 今回の要望は、区民とPTA会長から出ているのですから、非常に重いものだと受けとめなければなりません。

小堀委員長 そうですね。

猪口委員 一つ質問ですが、通行規制をするということは、事実上、建設が不可能になるということの意味するのでしょうか。

庶務課長 大型自動車の通行をもし禁止いたしますと、今後、この地域での建設工事はできなくなるのではないのでしょうか。それは、警察も十分承知しております。警察は、過去の事例等を参考にしつつ、公平に対応していく、とおっしゃっております。

小堀委員長 そうすると、規制をして、必要なときにだけ解除するということになるのですね。

猪口委員 例えば、グランツオベールの工事のときに大型車両は通っていたことになりましたが、そのときには、どのような安全対策がなされたのでしょうか。また、何か特別の強い対応がされた経緯があったのかどうかです。あるいは、今後、仮に、例外的に特別の事情で通行を認める場合に、安全な対応がどのようになされるかをお聞きいたします。

小堀委員長 規制を解除する特別な事情があるときは、どのような安全対策を行うのか。その条件をはっきり決めたいうえで、規制を解除するということですか。

猪口委員 建設するときには、普通は通らない大型車が相当数通ると思います。大型車両は、死角もたくさんありますから、一般的に交通事故がふえることが考えられます。例えば、後部車輪に巻き込まれたりする交通事故がふえる可能性があると思います。このような事故を防ぐために、今までに何らかの対応がされていたのかどうかについて、もう少し情報はないのでしょうか。今後の積極的な審議には必要なことであると思います。

小堀委員長 警察では、現在、通行量の調査を行っているのですね。であるならば、その結果と今の猪口委員が発言された内容を警察に確認してください。

猪口委員 規制を解除するかどうかの最終的な判断は、公安委員会です。ですから、規制を解除する場合には、子どもが事故に巻き込まれない具体的な対応をどのようにするのかを確認していなければならないのです。例えば、子どもを守るための観点から、誘導員が50メートルおきぐらいにきちっと立つとか、あるいは、何かバンパーのようなものを道に設けて、スピードが出な

いようにすることなどが考えられます。海外の事例では、よくあります。どのような対応が、一番、安全性を高めることができるのかを検討しなければなりません。私たちに決定権がないのです。ですから、できる限りのことを考え、関係機関に要請などをしなければならないのです。

小堀委員長 どのような安全施策が考えられるのか。そして、警察では、その具体的な安全施策をどのようにすすめていくのかを確認していくことは必要なことです。

学校教育部長 過去の対応につきましては、調べさせていただきます。

小堀委員長 ところで、現在の工事状況はどうなっているのですか。この計画に従って行っているのですか。

学校教育部長 まだ工事は着工されておりません。

小堀委員長 全然行っていないのですね。

学校教育部長 まだ、協定がなされていないということでございます。

小堀委員長 10月12日からと記載がありますが、まだ、車は入っていないのですね。

この件については、委員会としても重く受けとめて、具体的な調査を進めていきましょう。

そして、今後、その報告をしていただくことにしましょう。

ほかに、ご意見などはございませんか。

ないようでしたら、次の報告事項にまいりましょう。

(3) 平成16年第4回区議会定例会の審議概要について

小堀委員長 次は、平成16年第4回区議会定例会の審議概要についてです。庶務課長、どうぞ。

庶務課長 資料第3号でございます。平成16年第4回区議会定例会一般質問教育長答弁でございます。

幾つかご説明させていただきます。

はじめに、冒頭2番の来年度の予算編成に関連したものでございます。小中学校など学校施設の雨漏り、トイレの特殊清掃等につきまして質問をいただいております。教育長答弁は、財政状況を勘案しながら順次計画的な対応をしております。そういう答弁をしております。

次に、障害児学級の増設はどう具体化されたかというお尋ねでございます。具体的な設置場所等の検討を進めているところでございます。なお、本件につきましては、本日の報告事項第6によりまして、ご報告をすることになっております。

次に、17ページ「少人数学級」の実現についてでございます。この内容につきましては、区議会第2回定例会におきまして、「少人数学級」の実施に向けた検討をすべきではないかというご質問に対しまして、限られた学級での「少人数学級」よりもチームティーチングや複数教員の配置が効果がある、そのように答弁をしたことに対しまして、再度「少人数学級」よりもチームティーチング等の方が効果がある、その根拠を示してほしい、という質問でございます。

次は、18ページの でございます。これは、区独自に「少人数学級」の実施を都に申請し、23